

「情報」の生活への影響

コンピュータの影響

コンピュータの内部について・コンピュータの利用法について
→ 学習・理解できる

コンピュータと「人の生活」「人の考え方」など社会との関係・我々に及ぼす影響
→ まだまだ判らないことが多い

「持てる者と持たざる者」

コンピュータ リテラシ
・コンピュータ操作能力を持つ、持たざる者の差
・「アクセスの保証」？

→ 「読み」「書き」「ソロバン」

男女差

女性が技術系が弱いとされている理由はなぜだろうか？
社会的な役割の違い？ 教育との関係？

ネット利用にも男女差あり？

男性 or 女性向けにターゲットをしぼったサービスの展開が始まっている

情報弱者・技術弱者（デジタルの壁：デジタル・デバイド）

個人でも世界に情報発信 or 世界中の情報が手に入る
↓ ↓
× 「バラ色」の世界 ○ マイナス面の表面化

パソコン・ネットワークの普及状況が一様ではない
↓
格差は拡大傾向にある

「情報弱者」
・職探し
・住居
・行政サービスを含めた各種サービス

・電話の例

・世界的なデジタルデバイド
欧州・アジアの経済国が優勢、アフリカ諸国などが劣勢

世界人口の約 10%がインターネットを利用(2002 年)。
うち 90%が先進国ユーザ
うち 1/3 はアメリカ人
(ネット上でも超大国？)

- ・日本では「デジタルの壁」(= 格差) は生じないか？
 - ・人種？
 - ・中央と地方の差
 - ・「情報」に対する無関心が問題となっている

コンピュータと利用効率

障害により利用効率が落ちるのは当然だがそれ以外のことで・・・

最近、意味も無く「メールチェック」「Web サイトめぐり」「チャット」をしていませんか？

- ・職場で勤務時間内の私用利用
- ・教室でのコンピュータ使用が生徒の成績を下げたという報告

(この逆の報告ももちろんあるのだが・・・)

全てをコンピュータで済ますことは賢い選択ではないかもしれない

依存症 (中毒)

酒・タバコ・薬物・ギャンブル・買い物・・・・

「マウスのメカニズムには中毒性がある」
 ... John. C. Dvorak
 (→ 多分、携帯電話もそうなのかも)

「インターネット」依存症・「ネット中毒」
 近年の研究で「社会的」「心理的」影響がわかってきた

- ・大学においてのネット利用時間の増加と中退者の増加の関係
- ・社会生活の放棄
- ・健康障害
- ・孤独で鬱 (うつ) 状態にさせる
- ・若年層・コンピュータ初心者に多いという報告

ネットゲーム (MMRPG など)

インターネットの利用時間は社会生活を営む時間を犠牲にして得られている

「インターネットで何かを得る」	vs	「実生活で何かを失う」
希薄な人間関係		より親密な人間関係
仮想・能動的		現実・受動的

まだまだ我々の利用は「中毒」にはほど遠く心配する必要は無い

実際には (電子的な接触のほうが容易ということで)
 「引っ込み思案」の人
 「コミュニケーションをとるのが苦手」な人
 にとっては、チャットなどはプラス要素として働いている